

## 第17回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成28年4月27日（水）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife放送番組審議機関審議委員（平成28年4月27日現在）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（株式会社oricon ME 元『オリ★スタ』編集部編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

\*あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（株式会社oricon ME 元『オリ★スタ』編集部編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

\*あいうえお順、敬称略

■議題

- ・放送番組種別の承認（平成27年10月～平成28年3月分）
- ・視聴者からの問い合わせ状況報告（平成28年1月～平成28年3月分）
- ・4月 番組改編と編成戦略について
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

<審査番組>

「見えない訪問者 ～ザ・ウィスパーズ～」日本語吹替版 第1話

「一杯からはじまるストーリー」第2話

「トイ・ストーリー20周年スペシャル：無限の彼方へ さあ行くぞ！」日本語吹替版

「吹奏楽が奏でる！ ディズニー・ミュージックの魔法」

## ■議事概要

### ○放送番組種別の承認

一当社より番組放送種別について平成27年10月～平成28年3月分までの6カ月間の各第3週目の実績を説明し、承認された。

※詳細は、ホームページ上に公開。

○平成28年1月～平成28年3月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組を報告し、確認された。

○4月番組改編のポイントについて、番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

視聴者調査から得られたデータを下に、主に以下の2つのポイントを柱に改編を行い、いずれの枠も、曜日、時間帯別に視聴者のニーズを反映し、連続して番組を楽しんでいただける改編を行ったことが説明され、理解された。

1. 20時から26時までのコアタイムの編成を以下のポイントに沿って強化を図った。
  - ① 土曜日の夜に日本初放送となる新作ドラマを放送。
  - ② 知名度の高い名作ドラマシリーズを平日夜に連続放送。
  - ③ 人気ドラマシリーズの関連作品をまとめて楽しめるフランチャイズ編成を展開。
2. 上記コアタイム以外には、編成のジャンルに幅を齎せるため、海外ドラマ以外の番組の編成を強化した。
  - ① ディズニー・アニメーション番組枠の拡充で、子供に向けた春休み特別編成を実施。
  - ② ディズニー/ピクサー映画「アーロと少年」公開記念、マーベル映画「シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ」の公開記念として関連作品を特別編成。
  - ③ 料理や旅行など国内外のバラエティ番組、日本のアニメーション番組、韓国歴史ドラマの編成を充実させ、幅広い視聴者へ視聴機会を提供。

また、先行情報として、5月4日の「スター・ウォーズの日」に因み、他のBS局と共同編成を組み、映画「スター・ウォーズ」3作品を3夜連続で相互に放送する予定であることも、併せて報告され、多くの審議委員から高い評価を得た。

○委員からは次のような質問、意見・感想が述べられた。

・昨今、各社からのスマートフォンやコンピューターによる視聴に向けた配信サービス・ビジネスが加速化しているが、BS放送の編成への影響をどのように捉えているかという質問があり、現状ではテレビの視聴の割合が優先しているという調査データに基づき、従来通りテレビ放送の編成を優先的に行うと同時に、見逃しサービスとして運用中の無料アプリの活用により、テレビ以外の視聴環境でも多くの視聴者に番組を楽しんでいただけることを試みているが説明され、理解された。

・事前視聴された番組には、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

― 「見えない訪問者 ～ザ・ウィスパーズ～」第1話について、大変良く出来たドラマで、若干恐怖感を感じられる部分もあるが、続きが気になり見たいくなる作品である。続シーズンがアメリカで制作されなかったことが大変残念な良く出来たシリーズであるという高評価が、ほぼ全員の審議委員から寄せられた。

― 「一杯からはじまるストーリー」第2話については、「このような映画を紹介する情報番組の存在は大変貴重であり、価値のある番組である。」という評価が寄せられるのと同時に、1回の番組でより多くの映画を紹介することの勧めと、番組のターゲットが明確に反映された構成にしてはどうか？という番組制作面でのアドバイスを受け、今後の参考にすることになった。また、映画史を説明する表現として、断定的な史実を特定できず、諸説が存在する場合が多いので、ある1つの説に特定しない表現を用いた方が良いのではないかという表現上のアドバイスを受け、併せて今後の制作に活用することになった。

― 「トイ・ストーリー20周年スペシャル：無限の彼方へ さぁ行くぞ！」には、全審議委員より、大変素晴らしい番組であり、何度でも再放送をしてより多くの視聴者に視聴してもらいたい価値の高い作品であるという感想を多数受け、今後の再放送の機会を検討することになった。

― 「吹奏楽が奏でる！ ディズニー・ミュージックの魔法」については、審議委員より、「こうした音楽活動に打ち込む生徒の姿を紹介し、吹奏楽を啓蒙する一連の活動は、企業として素晴らしい」というこの企画全体に対する賛辞が寄せられた。

以上